平成28年度第3回東成区区政会議 会議録

1 開催日時 平成29年3月15日（水） 13時30分から15時15分まで

2 開催場所 東成区民センター 2階大ホール

3 出席者の氏名

【委員】

清水 弘（議長）、濱田 麗史（副議長）、阿形 正一、石川 洋志、梅本 千代子、大内 久也、大垣 孝子、岡坂 明、岡本 秀男、桑田 泰彦、五嶋 キクエ、新家 裕子、杉原 博、田中 英夫、永田 久、中野 壽夫、野坂 万喜子、羽鹿 誠一、降幡 一雄、増田 博、松井 克記、松田 和子、三枝 直美、山本 忠男、吉田 五郎

【市会議員】

川嶋 広稔、岡崎 太、則清 ナヲミ

【府会議員】

徳永 慎市

【東成区役所】

森本 万喜子（東成区長）、木口 剛一（東成区副区長）、足立 幸彦（総務課長）、中須賀 孝（総合企画担当課長）、原 敏浩（市民協働課長）、鎌塚 隆男（まちづくり担当課長）、中川 正己（保健福祉課長）、西山 明子（児童・保健担当課長）

4 委員に意見を求めた事項

平成29年度東成区運営方針（案）及び予算（案）について

東成区空家等対策アクションプラン（素案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○中須賀課長 時間となりましたので、これから始めさせていただきます。皆様、本日はお忙しい中、東成区区政会議にご出席を賜りまして、ありがとうございます。私は進行を務めさせていただきます、東成区役所総合企画担当課長の中須賀でございます。よろしく願いいたします。すみません、着席にて説明させていただきます。

ただいまから、平成28年度第3回東成区区政会議を開催いたします。

まず、本日の区政会議の開催状況でございますが、委員44名中25名の委員のご出席をいただいております。したがって、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項によりまして、本会議が有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

第2回区政会議以降に、委員の交代がございましたので、私から新委員のご紹介をさせていただきます。委員の方は、その場でご起立をお願いいたします。

東成区民生委員児童委員協議会からの推薦委員といたしまして、上田利明委員にかわりまして、羽鹿誠一委員でございます。

なお、新任委員の任期につきましては、前任の委員の残任期間となりますので、他の委員の皆様と同様、平成29年9月30日までとなっております。どうぞ、よろしく願いいたします。

次に、会議の進行に当たりまして注意事項を申し上げます。

まず、当区政会議は、条例により公開することとなっておりますので、ご了承をお願いいたします。傍聴者の方によります写真撮影や録画、録音につきましては、円滑な議事運営のため、傍聴者席からでお願いいたします。

また、区役所で区政会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めております。広報担当者によります会議中の撮影につきましては、ご了解をいただきたいと存じます。本日の会議内容は、後日、議事録を公開する予定でございます。

最後に、会場にお越しの全ての方にお問い合わせ申し上げます。スマートフォンや携帯電話は、電源をお切りいただきますか、マナーモードに設定していただき、会場内での通話をご遠慮いただきますようお願いいたします。

それでは、資料の確認をさせていただきます。事前に54ページものの資料をお送りさせていただいております。本日は、追加資料として資料1「配席図」を、また「次第」に一部修正箇所がありましたので、差替えの資料を机上にお配りしております。本日、資料をお持ちでない方はおられませんでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは最初に、区長の森本よりご挨拶をさせていただきます。

○森本区長　皆様、こんにちは。区長の森本でございます。

本日は年度末のお忙しい中、また少し寒い中、お越しいただきましてありがとうございます。平成28年度の第3回目となります区政会議でございます。今年度、特に部会におきまして、皆様方には本当に熱心にご議論をいただき、また、区に対しましてご意見やご提言をいただきました。本当にありがとうございます。

本日の区政会議では、平成29年度の予算（案）と運営方針（案）、そして東成区空家等対策アクションプラン（素案）などについて、ご説明をさせていただきたいと思っております。平成29年度の予算（案）の区長の自由経費については、昨年とほぼ同じぐらいの額でありまして、その中に皆様方からいただきましたご意見をできるだけ取り入れながら、そして工夫しながら編成させていただきました。後ほど、詳しくご報告をさせていただきます。

これらは、現在、市議会に提案させていただきまして、審議をいただいている最中でございます。また、前回の区政会議でも少し触れさせていただきましたが、このところ顕在化してきております空家等に関わる問題・課題を解決するために大阪市

では、昨年の11月に「大阪市空家等対策計画」を策定いたしました。その計画をもとに区におきましても対策を推進していくための具体的な行動指針としまして、「東成区空家等対策アクションプラン」（素案）を策定いたしましたので、この内容をご報告させていただきます。

なお、現状の体制の中でございますので、工夫をしながら行っていきたいと考えております。

本日も皆様から忌憚のないご意見をいただき、平成29年度の区政運営の参考にさせていただきたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

なお、今後の総合区の進め方について、担当しております副首都推進局作成の「総合区」の区割り案につきまして、3月3日の区長会議に「区割り案の作成にあたって」という資料提示がありました。今後、3月末をめどに市長としての案が出されると聞いております。新聞等の報道にございましたので、会議資料の最後に参考といたしまして付けさせていただきました。

本日もどうぞ、皆様方のご意見をいただきますようによろしく願いいたします。

○中須賀課長　それでは、清水議長に今後の議事運営をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○清水議長　それでは、本年度第3回目の東成区区政会議を開催いたします。

本日の議題でございますが、先ほど区長のほうからもございましたが、平成29年度の運営方針、並びに予算、それに空家等アクションプランですか、これについてということでございます。

それでは、早速議事に入ります。その前に、傍聴の方に申し上げます。先ほど、区役所より説明がございましたけども、諸々の事項を守っていただきたいと思います。

それでは、平成29年度運営方針（案）並びに予算（案）につきまして、これは誰が説明してくれるんですか。

どうぞ。

○中須賀課長　　総合企画担当の中須賀でございます。私のほうから運営方針の案について説明をさせていただきます。

4 ページの資料 3、平成29年度東成区運営方針（案）の修正について、説明をさせていただきます。

前回の12月に開催いたしました第2回区政会議におきまして、委員の皆様にお示しさせていただきました平成29年度東成区運営方針（素案）から（案）に改訂するのにあたりまして、区民の皆さんによりわかりやすいようにと一部を変更いたしました。変更箇所は全部で4か所ですので、修正箇所のみ説明をさせていただきます。

まず、業績目標をアンケートの調査結果により測ることができるように変更したものが2つございます。具体的取組4-2-3「市民活動団体等との協働による課題解決」、それと4-2-4「ふれ愛パンジーまちづくり活動支援」でございます。それぞれ当初の業績目標を「事業件数1件以上」、あるいは「事業が1事業以上」といたしておりました。「わかりやすい目標値設定」という観点から、アンケートの調査結果による目標値に変更いたしました。

○清水議長　　ちょっとすみませんが、今の4-1とかね、新しい方がおられますので、どこにあるかというのをおっしゃってくれませんか。4-1とか5、言うても新しい方が見えてますんで、わかりにくいと思います。ちょっとすみませんが、その説明だけお願いしたいと思います。

○中須賀課長　　はい、わかりました。

4-2-3は21ページ、4-2-4がその次の22ページでございます。運営方針の本体の21ページに4-2-3、ここにですね、この業績目標を変更し、記載しております。4-2-3ですと、「当提案事業が地域課題の解決につながるように感じる区民の割合、50%」ということで変更をいたしております。よろしいでしょうか。

同じくめくっていただいて、22ページの上の部分、一番上の業績目標（中間アウトカム）とございますが、ここも「当補助事業がまちづくりの活性化につながると感じ

る区民の割合、50%以上」と変更いたしました。

次に、業績目標の2つ目といたしまして、2つ目の黒い点のところといたしまして、業績目標を具体的取組の効果がより詳しくわかる指標に訂正しましたものが2つございます。具体的取組5-1-1、本体の資料ですと、24ページでございます。5-1-1 区政会議運営事業につきましては、「区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合」としていましたが、ここは端的に、「区政会議について知っている区民の割合」といたしました。これは、平成27年度及び28年度の運営方針の表現に合わせたものでして、区政会議の認知度を調査いたします。

また、最後4つ目の5-3-1、これは27ページをご覧ください。

区民サービスの向上、こちらは上のほうに「めざす状態」の次に、アウトカムとありますが、5-3のめざす状態の下、計画の欄にそのアウトカム、このアウトカムと同じ指標でございましたので、「区民サービスの向上のために工夫や改善が行われていると感じる区民の割合」というふうに、ちょうど中間5-3-1、業績目標（中間アウトカム）のところですけど、これを変更しまして、今記入のとおり「区民サービスの向上のために工夫や改善が行われていると感じる区民の割合、60%以上」というふうに変更いたしております。

以上、簡単ではありますが、平成29年度東成区運営方針（案）の修正について、説明させていただきました。

○清水議長 予算は。

○森本区長 続きまして、東成区の予算案について、総括のところを私のほうから、少し詳しい内容を足立課長のほうから説明をさせていただきます。座らせていただきます。

ページは29ページを開けていただきたいと思います。先ほどと繰り返しになりますが、当区予算案につきましては、現在、議会で審議中でございますが、今後の審議を経まして、最終的には、今月下旬に成立する予定になっております。

29ページ、資料5をご覧ください。

平成29年度に東成区役所が行う事業や庁舎の維持管理経費などの予算額につきましては、資料の右上、平成29年度予算額のところでございますが、3億1,624万5,000円となっております。括弧が前年度でございますが、平成28年度予算額2億7,716万4,000円と比べまして、3,900万円ほどの増額になっております。増額の主な理由につきましては、市民局で一括して予算を計上しておりました区役所の住民情報窓口業務の委託に係る経費などを平成29年度の予算より、各区役所の予算として計上することになったということによるものでございます。その部分を除きますと、平成28年度に比べ、約90万円増の予算となっており、市内24区役所予算全体で3%のマイナスシーリングとなっている中で、一定の予算額を確保できたのではないかと考えております。

次に、予算編成の大きな柱、6項目につきまして、その下に記載させていただいております。

まず、①安全で安全なまちづくりでございます。814万6,000円を計上いたしました。防災・防犯は区民の方々の大切な思いがございますので、平成29年度も関係機関と一体となって、施策を進めさせていただきたいと考えております。

運営方針のときのご説明の際にも、お話をさせていただきましたように、防犯カメラにつきましては、平成28年度は、各地域に1台ずつ学校の近くに設置させていただきました。区で、平成28年度予算化を考えた後、大阪市で3年間で1,000台というふうに予算化されましたので、限られた区長自由経費のもとでございますので、平成29年度につきましては、大阪市予算で防犯カメラの設置を考えさせていただくことといたしました。

次に、右側に移りまして、子育て支援の充実でございます。598万8,000円を計上いたしました。子育て支援については、主任児童委員の方、社会福祉協議会の方、地域の方々等のご協力を得て、子育て層のために「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」を行っております。平成29年度も引き続き充実を図ってまいりたいと思っております。

おります。

また、平成29年度は、区政会議の部会でご意見をいただきましたことを受けまして、新たに親子で参加できるようなスポーツ講座を実施して、子どもの体力向上を図る事業に取り組んでまいりたいと思っております。

次に、③地域福祉と健康づくりの充実・推進でございます。2,364万7,000円を計上いたしました。引き続き、「おまもりネット事業」や、各校下の地域特性に応じた地域福祉活動を推進して、地域における支え合いの充実を図ってまいりたいと思っております。また、健康寿命の延伸は、部会でもご議論いただきました。子どもころからの食育は大切でありますし、小中学校の食育講座の実施や、壮年期への特定健診の受診勧奨、そして、介護予防としての「いきいき百歳体操」の普及など、それぞれのライフステージに応じました健康づくりに地域の方々と力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。

次に④のまちの魅力向上でございます。5,258万7,000円を計上させていただきました。特に、工場見学会や、モノづくりを中心とした体験型のイベントなど、東成区の財産であるモノづくりの技術を子どもたちに体験してもらう機会を設け、次世代につなげていきたいと思っております。先日、ご協力いただきました子どもたちの体験フェスタも好評でございました。来年度は、加えまして、これも部会でご議論いただきました、にぎわいづくりの一環として、区民の方々と一緒にまち歩きを実施しまして、地域にございます資源の発見につなげるなど、まちの魅力の向上に努めてまいりたいと思っております。

次に⑤でございます。利用しやすく信頼される区役所づくりとして、1,667万8,000円を計上いたしました。区民の意見やニーズを把握するため、引き続き区政会議を開催し、また区民アンケートも実施するとともに、区民の方の情報源としては、やはり大きなものでございます区の広報紙「ひがしなりだより」を充実し、よりわかりやすくしていくとともに広報紙の全戸配布を継続してまいりたいと思っております。

また、⑥でございます。東成区役所の運営経費や、区役所庁舎及び区民センターの建物保守などにかかる経費を2億909万9,000円計上しております。

この6つの柱のもと、平成29年度につきましても、引き続き東成区のまちづくり、住んでよかったと思われるようなまちづくりに効果的に推進してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

○足立課長　引き続きまして、総務課長の足立でございます。

私のほうからは、予算の前年度比較と予算編成の柱ごとの主な取組みにつきまして、ご説明させていただきます。座らせていただきます。

それでは、資料の30ページをご覧くださいませでしょうか。

前年度との予算比較になっております。主な増減のところをご説明申し上げますと、まずは、安全で安心なまちづくりにつきましては、約340万円減となっておりますが、これにつきましては、先ほど区長が申し上げましたように、防犯カメラにつきまして、平成29年度は大阪市予算での設置を進めてまいりますことから、東成区における予算計上は見合わせたことによるものでございます。

続きまして、その下の子育て支援の充実のところですが、約65万円の増となっておりますが、これも先ほど区長が申し上げましたが、平成29年度に新たに子どもの体力向上を図るための事業を実施することによるものでございます。

それから、大きなものとしまして、一番下の東成区役所運営にかかる経費でございますが、これも先ほど区長が申し上げましたけれども、市の市民局で一括しておりました、住民情報窓口業務ですね、そこの委託経費などを各区役所で行うことになったことによる増ということで、それが約3,800万円強になります。それに加えまして、区役所の来庁者用トイレの一部を洋式化する経費、これも約250万円ぐらいありますけど、それも平成29年度新たに計上しているところでございます。

以上が、大きな変動要素でございます。

続きまして、31ページのところをご覧いただきたいと思います。

また、防災対策のところでございます。

目標といたしましては、「住民同士が助け合う体制（共助）の確立」としまして、具体的には、「地区防災計画に基づく震災訓練等の充実を図る」、「地域防災力向上のため地元企業等との連携に取り組む」、「学校園が防災教育を推進できるよう支援する」の3本柱としております。これまでの主な取組みといたしましては、東成区では、「地域防災対策事業」としまして、各地区における防災計画の策定の支援、中長期を意識しました収容避難所運営訓練の実施、災害時協力企業等登録制度による地元企業の登録などを行ってまいりました。登録企業につきましては、3月8日現在、46社よりご協力をいただいております。

また、平成27年度より、少しずつではございますが、各小中学校等に避難所で使用する簡易ベッドとか、プライベート確保のためのパーティションなど災害時物品の配備を行っております。

平成29年度につきましては、地区計画に基づく収容避難所運営訓練、災害時協力企業や福祉避難所の拡充、また、学校園への防災教育支援などに取組み、災害に備えた住民同士が助け合う体制づくりを引き続き進めてまいりたいと思っております。

続きまして、32ページをご覧いただきたいと思います。こちらは防犯と安全対策ということでございます。

目標といたしましては、防犯対策では、「区民の防犯意識を高める啓発を行い、安全で安心なまちづくりができていく地域環境整備」としまして、具体的には、子どもの防犯意識の向上や自主防犯活動の促進、また、警察等と連携した防犯対策の取組みを図ることとしております。

安全対策では、「駅周辺の歩行者や自転車の通行がスムーズで、安全な環境」としまして、鶴橋駅周辺等の放置自転車削減等を挙げております。

これまでの主な取組みといたしましては、東成区では、子ども防犯教室の開催など、

就学前児童への防犯啓発、安パトによる地域巡回、また、寄贈を受けました青パト車両の地域への貸し出しなどを行ってまいりました。

また、大阪市としての主な取組みといたしましては、防犯カメラの設置・設置補助、青色防犯パトロールによる「夜間」地域巡回がございます。

平成29年度の主な取組みといたしましては、引き続き就学前児童への防犯啓発や、寄贈いただいた青パト車両の地域への貸し出しなどを行ってまいりますとともに、鶴橋駅周辺等の自転車利用の啓発、放置自転車対策に取り組んでまいります。

また、大阪市の事業としましては、子どもを犯罪から守るために、「見守り防犯カメラ」というのを平成29年度につきましては、市内の通学路等に新たに約350台の設置が予定されているところでございます。

それでは、続きまして、資料33ページをご覧いただきたいと思います。子育て支援の充実でございます。

まず、目標でございますが、地域の子育てボランティアや、子育て支援施設等との連携により、地域全体で子育て家庭を応援することで、安心して子どもを産み、子育てできるまちの実現をめざしてまいります。

これまでの主な取組みといたしましては、まず、「ひがしなりっ子 すくすく・つながるクラブ」を活用しまして、子育て家庭と地域社会のつながりづくりを支援することで子育て家庭を地域で支える仕組みの充実を図るとともに、子育て支援イベントの充実、あるいは子育て支援者の育成に取り組んでまいりました。

さらに、母子健康手帳交付時の機会を活用しまして、「子育て情報リーフレット」を配布しておりますし、また、地域の子育て支援情報の効果的な提供を図っております。

次に、発達障がい児支援事業については、心理相談員による相談事業を展開するとともに各学校に発達障がいサポーターを配置して、校外学習時の個別支援を行うことにより、乳幼児期から学齢期までの児童への支援が円滑に行えるよう相談支援体制の

強化に取り組んでまいります。

平成29年度の取組みといたしましては、これまでに引き続き、「ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ」の利便性を一層高めますとともに、親子で楽しめるイベントの充実、あるいは子育て情報誌等の多様な媒体を活かし、子育て情報を発信していくことを取り組んでまいります。

また、「子育て情報リーフレット」につきましては、母子健康手帳交付時に加えて、新たに出生後3か月健診時にも交付することとしまして、最新の情報を提供してまいりたいと考えております。

以上の取組みを進めていくことで、行政、関係機関、地域が連携し、子育て家庭が安心して子育てできる「子育てにやさしいまち 東成」をめざしていきたいと考えています。

続きまして、資料34ページをご覧ください。

先ほど少し触れさせていただきました、子どもの体力向上を目的としました平成29年度新規事業をご説明させていただきます。

今年度の区政会議、各部会におきまして、委員の皆様から「子どもの体力向上につながる取組みを行って欲しい」、あるいは「アスリート等、スポーツの専門家をしょうへい招聘して、運動の基礎技術を教えて欲しい」などのご意見をいただいたところでございます。区役所といたしましても、子どもの体力向上に向けた取組みというのは、非常に重要な課題と考えまして、平成29年度におきましては予算額130万円を計上いたしまして、新たに「みんなdeスポーツ教室」を開催することといたしました。その内容についてでございますが、家庭や地域、学校等と連携して、子どもの運動能力や体力向上を図ることを目標として、小学校低学年には「走る」、「跳ぶ」など基礎能力の向上をめざしたプログラムを、小学校高学年にはスポーツ競技の体験プログラムを中心として、保護者と一緒に参加できるイベントというのを開催したいというように考えております。アスリート等による実技指導のもと、子どもたちに運動とスポ

ーツに興味・関心を持ってもらい、継続的にスポーツを行う、そういった機会の提供に取り組んでまいりたいというふうに考えております。

続きまして、資料の35ページ、地域福祉の充実というところをご覧いただきたいと思えます。

まず、目標でございますが、地域における支え合いが一層充実し、区民が住みなれた地域で安心して生活できるよう地域福祉の充実をめざしてまいります。

これまでの主な取組みといたしましては、まず、「おまもりネット事業を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業」を実施しております。各校下1名ずつ配置しました地域福祉活動サポーターを中心に、おまもり手帳やカードの普及を図る取組み、あるいはふれあい喫茶、高齢者食事サービスを始めとしたさまざまな地域福祉活動を推進し、地域での支え合いが広がることによって、安心した生活ができるような取組みを行っております。

さらに、平成29年2月には、新たに緊急時安否確認、いわゆる「かぎ預かり事業」を開始いたしました。これは、東成区内にお住まいのひとり暮らしの高齢者の方が安心して暮らせるよう事前に希望された方の鍵を預かり、緊急時にその鍵を使って自宅内での安否を確認するというものでございまして、区内の関係機関と協働で、協力施設、東成警察署の協力のもと、新たに立ち上げた事業でございます。これは全国的にも先進的な取組みというふうになってございます。

続きまして、「専門分野別実務者会議」では、「高齢者支援」「障がい者支援」「子育て支援」「健康づくり推進」の4つの分野ごとに会議を開催し、地域の活動者や関係機関とともに、各分野ごとの情報交換や地域での課題解決に向けた意見交換を行っております。先ほど紹介いたしました、「かぎ預かり事業」も、この実務者会議の中で課題提起をされ、検討を重ねられた結果、実現した取組みの一つでございます。

平成29年度につきましては、これら平成28年度までの取組みを踏まえまして、「おまもりネット事業」や地域福祉活動を引き続き推進していくとともに、かぎ預かり事

業といった新たな取組みも加えまして、地域や関係機関と一層連携し、より重層的なセーフティネットを構築してまいりたいと考えております。

続きまして、資料36ページをご覧くださいと思います。健康づくりの推進でございます。

まず、目標でございますが、健康寿命の延伸に向けて、区民の方々が自ら健康づくりに取組みやすいまちの実現をめざしております。

これまでの主な取組みといたしましては、自身の健康に関心を持ってもらうための講演会の開催や、多くの区民が集まる機会での血管年齢測定器の活用、情報発信リーフレットの作成・配布などを行ってまいりました。

この情報発信リーフレットにつきましては、平成26年度より3か年で、区内11校下の各地域版のヘルスガイドとして作成を行いました。

また合わせて、小中学生に「食」の重要性を認識してもらい、実践につなげていく食育に関する取組みを行うなど、区民の健康意識の向上を図る取組みを進めてまいりました。

また、感染症予防対策事業につきましても、平成26年度より3年間にわたり、集団発生となりやすい対象者の多い保育所や幼稚園、小学校、高齢者施設におきまして、区独自で作成しました歌も活用しながら「手洗い教室」を実施いたしました。手洗いの大切さや、正しい方法について啓発を行うことによりまして、感染症予防に対する意識づくりや適切な行動、対応が習得できるよう努めてまいりました。

平成29年度につきましては、これら平成28年度までの取組みを踏まえて、小中学校での食育事業の推進を継続するとともに、特定健康診査受診率向上のための区内医療機関等と連携した受診勧奨、地域が主体的に行う「いきいき百歳体操」の立ち上げ・継続への支援による介護予防の推進など、さまざまなライフステージに応じた健康づくりを推進してまいりたいと考えております。

続きまして、資料の37ページのほうに進んでまいりまして、まちの魅力向上の「区

民主体のまちづくり支援」というところをご覧いただきたいと思います。

まず、目標でございますが、さまざまな活動主体が互いに理解し信頼し合いながら、協働する豊かなコミュニティを実現することをめざしてまいります。

これまでの取組みといたしましては、地域活動協議会補助金の交付、まちづくりセンターの設置などを行いながら、地域活動協議会の認知度の向上や活動の活性化を図るために、区広報紙特集号の発行なども行ってまいりました。

地域の皆様の積極的な活動と、これらの支援が相まって、現在、各地域では、これまで取り組まれてきた盆踊りでありますとか、敬老会などの活動に加えまして、広報紙配布事業や、あるいは福祉事業所や企業との連携、また新たな担い手の参画につながる取組みなど、特色ある区民主体のまちづくりが展開されているところでございます。

平成29年度につきましても、このように各地域で実施されています区民主体のまちづくりを区役所として積極的に支援していくために、地域活動協議会支援事業といたしまして、補助金の交付のための予算を今年度と同額の1,750万円を計上しているところでございます。

また、まちづくりセンターを引き続き設置しまして、地域の会議、事業への支援、勉強会や交流会の開催等を行ってまいります。

続きまして、資料の38ページをご覧いただきたいと思います。「にぎわいや活気のあるまちづくり」のところでございます。

まず、目標でございますが、「まちの魅力を高め、にぎわいのあるまちづくりの推進」ということで、モノづくりを始めとした東成区の地域資源の再発見により、まちなぎわいを活性化させることをめざしております。

これまでの主な取組みといたしましては、「東成区わが町工場見てみ隊」の工場見学の取組みや、「モノづくり体験フェスタ」、あるいは、「ひがしなり街道玉手箱」による東成区のブランドイメージ化を図るなど、まちの魅力向上への取組みを行い、

いずれの事業につきましても、区民の方々を主役とし、実施に当たっては、関係機関にさまざまなご協力をいただきながら進めてまいりました。

今年度の「こどもモノづくり体験フェスタ」につきましては、3月4日に開催いたしまして、保護者の方を含む約700人の参加がございまして、大変ご好評をいただいたところでございます。

平成29年度の取組みにつきましては、工場見学イベント、「モノづくり体験フェスタ」に加えまして、区政会議におきましてご提言をいただきました区民参加型の「まち歩き」を実施してまいります。この「まち歩き」につきましては、コースの決定についても、皆様方とともに進めてまいりたいと考えておりまして、身近であるがゆえに気がつきにくい「東成区の地域資源」を皆様方と再発見・再発掘するためのきっかけになればというふうに考えております。東成区民が地域資源に直接触れ合う場を提供することにより、自分の住むまちに対する誇りとか、愛着心を醸成して、そのことが「まちの魅力の向上」とか、「にぎわいや活気のあるまちづくり」につながっていくように事業を進めてまいりたいというふうに考えております。

続きまして、資料39ページをご覧いただきたいと思います。区と連携した芸術文化青少年育成事業でございます。

これは、平成29年度の新規事業でございますが、東成区の予算ではなく、市の経済戦略局の予算となっております。経済戦略局では、各区に縁のある芸術とか、表現活動を子どもたちに体験してもらい、地域への愛着や誇りを育み、大阪の芸術文化を支える人材育成につなげていこうという趣旨のもとに、各区に対して事業の募集を行いました。その結果、16区が手を挙げまして、平成29年度におきましては、東成区を含む8区が選定されて、150万円の予算措置がされているところでございます。

東成区におきましては、古くから縁のある芸能「上方落語」に焦点を当てまして、区内小学生を対象に、落語の解説、仕草や小噺体験、お囃子・和楽器演奏のワークショップ、また、プロの噺家による落語鑑賞など参加型の事業を実施することにより、

この地域特性に根差した文化を若い世代に継承し、豊かな感性を持った青少年の育成をめざしてまいりたいというふうに考えております。

最後に、40ページをご覧いただきたいと思います。区民が利用しやすく信頼される区役所づくりでございます。

まず目標としましては、わかりやすい区政情報の発信に努めてまいります。

主な取組みといたしましては、もうご存じのとおり、広報紙「ひがしなりだより」を月1回発行しまして、区内の全世帯及び全事業所に配布を行っております。また今年度から、配布業務を地域活動団体にも担っていただける方法に変更をしております。

広報紙につきましては、今年度実施しました区民アンケートにおきまして、内容やレイアウトについて、約7割の方から「わかりやすい」という評価をいただいております。平成29年度におきましても、区民の皆様が必要とされる情報をわかりやすくお届けできるように広報紙の作成に努めてまいりたいというふうに考えております。

また、多様なニーズや意見を把握し、区政に反映するため、無作為抽出による区民1,500人を対象にした区民アンケートを年4回実施しているところです。

これらにつきましても、アンケートの結果、来庁者への案内サービスとか、窓口対応が以前に比べてよくなったという評価をいただいている一方で、「区政運営について意見や要望を聞くような工夫をしている」と思う方の割合などがなかなか目標に達していないということで、より改善して努めていきたいというふうに考えております。

また、若手の区職員で区民サービス向上プロジェクトチームを設置しておりまして、例えば、窓口への案内看板をわかりやすくするなどの活動を行っております。引き続き、そうした活動を含めて、区民サービスの向上に努めてまいりたいと考えております。

以上、長くなりましたけれども、説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○清水議長　　ただいま説明がございましたが、平成29年度の事業計画、並びに予

算につきまして、何かご質問等、ご意見ございませんか。

遠慮なく発言していただいたら結構ですけれども。その前に、ちょっとすみませんけれども、本日、欠席の方にご意見を聞かせてくれとか入っていましたね。何か意見等はございましたか。

○中須賀課長 出欠確認させていただくときに配付をさせていただきましたが、今回は返送でご意見をいただいております。

○清水議長 ああ、そうですか。

何かございませんか。意見が出ませんようでございますけれども、ちょっとお尋ねを私のほうからします。

39ページの区と連携した芸術文化青少年育成事業ということで、150万円の予算を組まれまして、落語ですか、これ。これは、1年間で終わりですか、あるいは3年かかするのでですか。

○足立課長 予算は単年度ごとなのですけれども、経済戦略局から聞いていますのは、一定これ3年をめどに。

○清水議長 継続で。

○足立課長 私どもとしましても、3年計画を考えて、最後は子どもたちが実際に落語を実現できるところまで持っていけたらというふうに思うのですけれども、3年計画であります。一応単年度ごとということでご了解いただきたいと思います。

○清水議長 これは業者委託でしょう。入札のね。これ3年間、1年、1年ですか。予算がついてないとできへんわね。

○足立課長 そうなります。予算が単年度ということで、予算が付けば、プロポーザルにつきましては、単年度ごとになっていきますので、また改めてということになります。

○清水議長 わかりました。

何かございませんか。どうぞ、中野さん、ちょっとマイク持って行ってください。

○中野委員 深江の中野でございます。今、区役所のほうから、企画予算というこ
とでご説明いただきました。私は地域からの提案もしたらどうかと思ひまして、その
件に関しては、議長よろしいでしょうか。その他でやったほうがいいですか。

○清水議長 いや、区政に関係があることでございますので、ちょっと。平成29年
度の計画内のことと、予算でございますので、各校下のことは後で。

○中野委員 校下じゃなしに、東成区として、こんな事業をなさったらどうですかと
いうようなことを。

○清水議長 どうぞ、やってください。

○中野委員 よろしいですか。

○清水議長 はい、結構です。

○中野委員 じゃあ、失礼します。

ちょっと地域では、こんなことを考えているのだなということをお東成区の皆さんに
一緒にやらんかというようなことをちょっと考えております。また、委託事業という
ことで、今、ひがしなりだより、皆さん配布なさっている地域もあります、やってお
ります。そういうような関係で、今、公園のほう、各連合に今、公園がある、ない
ところもあるかもしれませんが、深江としましては、公園をボランティア活動の
拠点としていろんなことをやっております。その中で、公園は、今、真田山のほうか
ら来て管理等なさっていただいております。そういうようなことで、地域でできるこ
とは何かということをお考えてみたら、今、皆さん既にやっておられると思ひます公園の
掃除とか、そして草抜きとか、既にやっております。それを地域に委託してもらって、
東成区の事業として、区役所から発信してもらって、地域がやっていくということも、
おもしろい活動やないかと思ひますので、それはコミュニティの場として発展してい
くんじゃないかとお考える次第でございます。既に、例えばということで、天王寺区に
おいては、既にそういうふうになさっております。そういうふうにお私、耳にしてお
ります。天王寺区役所からの発信で、地域が公園活動というか、掃除、もっと言ひました

ら掃除とか、草抜きとか、そういうことも既にやっておられた上に、自分たちでやるやないかということによって、公園の方から、結論というのですか、そちらのほうから委託事業費をいただいております。それは聞いています。そんなことを東成区は、取り組んでいったほうがいいんじゃないかと思えますけれども、私の思いと、提案というか、決して深江だけの問題ではなくて、東成区は公園をコミュニティの拠点、例えば盆踊りをやってみたり、深江の場合は歴史文化祭りをやってみたり、そして花を植えてみたりとか、そして種花事業をやってみたり、常に公園を中心に活動しております。というようなことで、小さなことでも、掃除、草抜き等の事業につきましても認めていただいて、事業をやっていくということで、今回は、こういうような事業提案を区役所がなさっております、既に遅しということと思えますけれども、次年度からでも取り組んでいったらどうかと思う次第で、皆様のご意見を聞きたいなと思っております。以上でございます。

○清水議長　　ありがとうございます。

これ、公園愛護会がありまして、愛護会の皆さんがやっておられますね。それで、この連合によっては、それ以外に、子どもさんと一緒に草むしりをしたりということもやっておりますけれども、これら委託費をもらわんと、ボランティアでやっているわけですけれども、今、そういう意見が中野さんから出たのですけれども、いかがなものですか。

○原課長　　市民協働課、原でございます。お世話になっております。

今、中野委員からございましたが、天王寺区では、たしか5つの公園に限っていると思えますけれども、事業委託として契約をして、地域に公園の維持管理をお任せしているところがあると聞いております。清掃したり、草抜きをしたり、あとそういった管理だけではなく、公園を地域のコミュニティの場として活かしていただいて、事業をされていると聞いております。東成区内におきましては、そういうことは今のところは、実施しておりませんし、4月以降、平成29年度以降につきましても、真田

山公園事務所で民間の業者に公園の清掃委託については、もう既に手続が済んでいると思いますので、中野委員がおっしゃいましたように、この4月からというのはちょっと難しいですけれども、少し時間をいただきまして、公園事務所とも相談させていただきながら、来年、1年先になってしまいますが、そういった民間の委託ではなしに、広報紙の配布事業も同じですけれども、地域の方々が受託できるような仕組みづくりを検討していきたいと思っております。区役所としましても、地域課題の解決のために皆さんが活動していくにあたっては、やはり財源といいますか、自主財源は重要な課題の一つでございますので、こういった大阪市の事業をできるだけ地域の皆さんに担っていただけるものについては、皆さんにお任せして、財源も有効に活用していただきながら、なおかつ、そういったコミュニティの活性化といいますか、発展に寄与していただくということで、ぜひとも区役所としても中野委員のご意見を踏まえて、検討なり、具体的に進めてまいりますので、もうしばらく時間をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○清水議長　活動は、いくらでも使えるわけですからね、公園は、利用できますからね。そうやけど、どんなことをしているんかな、天王寺区は。区の予算でやっているんかな。

○原課長　予算は、公園事務所の予算ですけれども、その予算を区に配付いただいて、区役所から、例えばこの公園、全部の公園ではないのですけれども、天王寺は5つだけで、5つに限った公園については、公募を行いまして、ここの公園について管理とコミュニティの育成ということで地域の方々に手を挙げていただいていると。契約を結んだ上で、日々の清掃と、そういったコミュニティのいろんな活動に使っていただいていると聞いております。

○清水議長　今でも公園ね、役員さんがいたら、何か町会の役員さんがやってはるみたいな感じしますけどね、愛護会というのですか。そこらもありますので、ひとつよろしゅうにほんならお願いいたしたいと思えます。あまりええ返事ではありません

けど。

○中野委員 委託事業をして、地域にお金を落としてもらおうという思いで。

○清水議長 難しいわ。予算をこっちへ持ってきてくれるのなら、やるねんけどな。

○中野委員 ひがしなりだよりを配って、委託事業で費用をもらっている。同じように事業をして、委託料をいただくということで、今まではボランティアでやっていましたけれども、それぐらいならできるから委託料をいただこうと、委託料をくれと言わんばかりに、そういう事業をやってもおもしろい、有償ボランティアという、それは個人に渡すのではなく、地域活動協議会がいただいて、活動、公園の諸費用に充てるとかいうこと。やっていることは、耳にすることは、公園の掃除と草抜きというような、至って今まで皆さん方がやっていることを天王寺区がやって、事業費として委託事業費として公園事務所からいただいているような感じで、公園事務所としても多分予算ができるのではないかなと思います。ということで、考えてみたらどうかと思います。

○清水議長 今の地活協に予算が行っているでしょ。天王寺区は東成区のように行っていますか。やっぱり東成区のように委託料を中間支援のほうに行っておれば、その上にもそれがあるのか、それをなくして金額が低いというのだったらわかるんですがね。東成区は、先程もありましたけれどもね、中間支援にお金大分いっているでしょ。その中でやってくれと。あの中に入っていますからね。そういう考え方もあると思うんですよ。

○原課長 すみません、天王寺区の資料を今持ち合わせてないですけども、天王寺区でも地域活動協議会の補助金は、予算化されていますし、交付されています。それから中間支援のまちづくりセンターも設置をして、各地域の支援をされていますので、金額は少し違うかもわかりませんが、おおむね東成と同じような形で。

○清水議長 東成区は多いですよ、確かに。1 連合100万円以上行っていますからね、そうでしょ。あれ、1,500万円ほど組んでいましたね、ここら。700万円ですか。

○原課長 1,750万円ですね。

○清水議長 その金額によって、これ一概に言えないと思うのですが。そういう点も照らし合わせて、考えておいてください。

○原課長 はい、承知しました。

○清水議長 他に何かございませんか。ぼちぼち1時間も経ってきたから。

松井さん、どうぞ。

○松井委員 すみません、手前勝手なことで申し訳ないのですが、いのちのきずなというエッセイを宝栄地域でやったのですが、ここ二、三年、東成に広げまして、各小学校、中学校の校長先生を初め、先生のご協力のおかげで、去年もことしも1,200点ずつぐらい応募がありました。小学3年生以上と中学生ですが、命のつながりとそういう子どもの道徳心を育てるとともに、今回もう終わったんですけども、ええ風習ができて、その佳作以上の方の親御さんからも感謝文、感想文をいただきまして、非常に感謝されております。ただ財政的に宝栄の金で東成区全体のことをやっていますので、来年もこういう東成全体で子どもらの精神的な成長にいいことを続けていきたいと思っておりますので、何も今すぐお金くれ言わへんけども、将来的にすいません。できたら東成区全体のことを皆さんに力は貸しますけども、中心になって宝栄が動きますので、そういう予算ができましたらありがたいなと思って、一言だけすいません。いつか考えてくれませんか。区長さん、ちょっと一遍考えてください。

○濱田副議長 今日は方針案と予算ですので、ちょっと予算のことで30ページにも出ておるのですが、29年度から29年度にかけてのほとんどの行事がマイナスなんです。1番下のところプラスになっているけども、これは市民局からの予算がこっちへ付け替えられたらそういう枠になったということですね。

ということは、行事をやろうと言いながら、上ではどんどん減らしていくと。そして、民間に民間にと書いてありますが、民間は商売人ですから、もともと損することは誰もやりませんわな。それが向こうへもうけます言うたらいい方が悪いですけど、

そういうものには予算をとるか、何か手抜きをしながら、実際に地域に対する予算は減っていったのではないかなと。29年度の予算の割り当てで、例えば31ページであれば、防災に361万1,000円とこう書いて、これだけ見ると何か前年度のどう比較したのか何かわからないぐらいで、皆納得しているというようなことを、実際に6つの事案でやっておるので、マイナスになったら①、それから③、それから④の行事、事業というのですか。②はなぜ増えているのかなと思ってみたら、この体力向上の130万というのがあるから何かしているって増えているだけで、これまだやってみないとわからない。これ具体的に大阪市では121の事業をやっておるということですけど、東成区で実施されているのは5つほどなんですかね。130万で5つほどの行事をやるということなのかなと思うのですが、これまだ具体的には何も決まってない。早くしないと、1年終わるごとに駆け足でやらないかと、そういうプラスになったものがどんどん上げてくれても、これまだこれから先の話だということでもあります。

ただ皆さん方が気をつけなきゃいけないのは、29年度は29年度。28年度は28年度と、前年度からまた減っているということに対しての危機感というか、どの行事が減っていくのかなというようなことも真剣にお考えいただいて、これからどうあるべきかと。それを役所にこういう区政会議で、しっかりと申し込ませていただき、区長さんのできる範囲内で増額してもらうような法則上、それでの対応の方がいってもらうべきじゃないかなと思うんですけど、報告があったらこれでそうですか、そうですかというもので納得されているのではないかな。やっぱり我々が区政会議に参上して議論するならば、減っていくところの歯止めというか、食い止めにどのようにするかということを考え、特に区役所の運営にかかる経費というのは、センターとか区役所のまあ言ったら設備の充実費というか、もっと言えば、建物の修理費みたいなものがあるだけであって、それは地域に対してなのか、それはサービスの上では関係あるのかもわかりませんが、もっと具体的に使うべき予算を増額するように、誰が見ても去年よりはよくなるのかな、そういうような意識をやろうかなという見方で、去年より減っているなとい

うことで、ちょっと寂しいんじゃないかなということ、私が言ってええのか悪いかわかりませんが、一応議長も横に座っておりますので、まとめる意味でも、ちょっと声掛けをさせていただきました。

以上です。

○足立課長　　すいません。その点につきまして、私から。ご指摘のとおり、微妙に確かに増額している部分もあれば、一方で少しずつ減額をしている部分もございます。その点につきましては、先ほどいろんな取組みを進めてまいるということを申し上げたのですが、消耗品でありますとか、そういったことも切り詰めて、わずかながらも少しずつ減らして行って、編成をさせていただいておりますので、先ほど申し上げた取組みに、大きな支障のない範囲で切り詰めた結果というふうにとらえていただけたらと思っております。

○森本区長　　今委員ご心配のことは、恐らく市全体で、さっき言いましたシーリングがかかっているんで、委員の皆さん方もそれを見て、区役所が増減しているところがきっちりとできているかというのを見るのが区政会議じゃないかということをお願いしているのだと思います。今、総務課長の足立が申しましたように、できるだけ地域の方とか区民の方にご迷惑が掛からないように、かつ先ほど申しました区政会議でご意見いただいたことをどう取り入れさせていただくかというところで、工夫し、別のところで減らして、取捨選択をさせていただいているつもりですので、事業がなくなってしまって困ったということは、29年度の予算編成はしてない形で頑張っていると思っていただいたらいいかなと思っております。

○清水議長　　よろしいか。他にご意見ございませんか。もう時間も大方1時間ちょっとかかっていますので、はい、どうぞ。

○増田委員　　区政委員、増田です。具体的な目標例ってというのは、なかなかきっちり見えへん部分がたまにあります。この予算案を見ていると、そういう中で、この15ページのところをちょっと具体的に数字として出るべきだと思うのですが、15ページ

に地域福祉と健康づくりの充実と推進とされています。その中で、特定健診の受診率ですね。これが今現在、東成区では19.4%。大阪市全体で19.74%。大阪府では27.9%。国レベルでいうと34%を超えていると。これが今まで資料として出ている特定健診の受診率ですけれども、大阪市は特に低い。東成区は何で低いのか、そういうことを痛切に感じるんですけど、確かに対象者がどれだけいてはるのかというの、後で報告求めたいと思うんですけども、対象者全体に対して、5人に対して1人ですね。20%ということ。

それに対して目標をどうしていくのか、何が問題なのかということを見た場合、健康づくりに対する意識が低いという評価ですね。具体的に何をしますかといったら、普及啓発を取り組みます。ものすごく抽象的なので、もっともっと具体的に、当面、今の東成区の普及受診率が19.4%やったと。それ来年に向けて、まずどれだけ出しましょう。数字上げるべきだと思います。最低限、大阪府の受診率に合わすとか。2年後には、国のレベルまで上げていこうと。そのためには何が必要なのかということ、もっともっと具体的に考えて欲しいし、提案して欲しいのです。そうでなきゃ余りにも抽象的やというふうに思います。

それから、実際これを上げるためには何が必要なのか。僕はもう実際、毎年届きますけども、それについても誕生日に大体くるけども、ぱっと筆筒の上に置いとくとかで、忘れてしまうということがたまにあるんですけど、そこで送った一月後に、一度役所のほうからそれぞれの対象者に対して届いていますか、ぜひ受けてくださいという一言の電話でもええんですと。そこからまず進めたらどうでしょうか。ただまず具体的に今年の受診率が東成区19.4%でした。これを何%にしようかという目標を持つべきやないかなと、私思います。

以上です。

○西山課長　　今の質問に対して、児童・保健担当課長の西山です。特定健診についてでございますが、受診率の向上は課題とっております。質問についてなんですけ

れども、これは受診率のデータと、東成区役所の分館のほうで集団健診ということで実施をしている数字と、民間の病院のほうで受診をしていただいている数字というのが把握できる数字というのが、ちょっとかなり遅れた形で出てくるということもございまして、その時点その時点での受診率の把握が非常に難しいところもございまして、明確にこの何%という設定を今回していないという1つの理由でもございます。

ただ、むしろ受診率を向上していくということは非常に課題と思っております、このたび啓発ということになりますけれども、東成区の場合は、東成区の医師会様も非常に協力的でございまして、医師会さんを始めとしまして、地域の健康づくりに取り組んでいただいている皆様の中で構成しています地域支援システムの実務者会議というのがございますが、まずそちらの会議の中でも、特定健診の受診率をアップするための工夫ということで、皆さんと知恵を出し合いながら、受診率の向上に向けて取り組んでいるところです。

今年についても、昨年までは取り組んでいなかったのですが、東成区の医師会様からのご協力のもと、病院のほうで啓発を開始していただくという今年度までの取組みということで実施をしておりますし、また、特定健診に限らず見ていきますと、さまざまな地域での健康づくりの取組みのときに、例えば特定健診の受診について啓発をさせていただいたり、それぞれの取組みの中で連携をして受診率をアップさせていくというような取組みをしています。今後も地域づくり、健康づくりに関連する皆様方と知恵を出し合って受診率の向上に向けて取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○中野委員　　今のお話の中ですけれども、特定健診受けておられる方ここにいます。私、受けたんです。内容は物すごく低いというか、もう限られています。これやったらどうにもならんねと、特定健診のあの内容というのはどこで決まるのですか。

○西山課長　　国のほうです。

○中野委員　　というのはね。大阪市の施策としてやりますけれども、健診率の高い

検討をなさったことはあるのかなと思います。特定健診行って、何かお医者さんがやってくれることを見ていると、ほんまにわずかなことで、改めてまた受けなあかんのかなという感じの特定健診です。僕1回行って、もうそれから行かないです。というようになるので、皆さんもそんな方もたくさんおられる、いてはるのかなと思います。それも率を下げている要因やないかなと思うのですけれども、その辺の検討もしっかりやっていたら、また特定健診を受診なさる方が増えるのやないかと、僕は感じた次第でございます。1つよろしく願いいたします。

○清水議長　僕らもうお医者さんへ行ってやっていますので、行く必要ないわけ。そのほうがはっきりする。全部診てくれはる。せやから、案内がくるのですが行ったことあらへん。先日もうちの老人会の老人給食で聞いてみたんですが、ほとんどお医者さんへ行ってやっているから行きませんと、それがあから低いのと違いますか。これは一概に言えませんがね。

そういうことで、もう時間もちょっと経っていますので、この程度で、申し訳ないのですが、もうこれ言っても我々、否決権もなければ何もないわけで、話聞かだけの会みたいなのね。議会で言うてございまして、こんなん僕らは初めからこんなのはなかってええやないかと言いながら議長やっているんですけど、ほんまに何かしら区のためになるようなもので、そんなん言うたら申し訳ないけども、そういうことで、質問を打ち切らせていただきたいと思います。よろしゅうございまして。えらいすいません。ありがとうございます。

これで本日の議題は、続いて、空家のアクションプランですか。これどういうことですか。

○中須賀課長　総合企画担当課長、中須賀でございます。着席にて説明させていただきます。資料の44ページから50ページにかけて、資料6として付けさせていただきます。大阪府東成区空家等対策アクションプランについて説明をさせていただきます。

資料に沿って、まず44ページの第1、アクションプランの目的と対象のところがございますが、大阪市のほうで昨年の11月に、「大阪市空家等対策計画」を策定しております。区においても、当東成区におきましても、この大阪市の対策計画を遂行するための具体的な行動指針として、この東成区空家等対策アクションプランを策定し、これらの課題解決に取り組むこととしております。

このアクションプランにおける対象とする空家等ですけれども、空家法に基づく空家等のうち、戸建ての住宅・店舗・倉庫等を基本としております。

なお、全ての住戸等が空室となっている長屋・アパート等についても対象となります。この資料では、※印で7ページ別紙参照となっておりますけれども、すいませんこの資料では50ページ参照と読みかえていただきますようお願いいたします。このページを示しております。

続いて、資料に沿って説明をさせていただきます。第2の東成区内における空家の現状ですけれども、これは次のページ、45ページの図1をご覧くださいと思います。東成区の平成25年の住宅の空き家数は7,590戸、空き家率は15.8%と大阪市平均17.2%と比べますと低い水準にあるものの、全国平均が13.5%ですので、大きく上回っている状況がございます。

特に、適正な管理がなされずに空家等となる可能性が高い「その他の住宅」が2,830戸ありまして、空家総数に占めるその割合は37.2%と、市平均の26.2%と比べると高い水準がございます。

そのため、「建物の適正管理」に関する広報や建物所有者等への啓発に取り組んでいくことが重要であると考えております。

その下の表1をご覧くださいまして、腐朽・破損、腐って傷んでいる状態でございますけれども、東成区における空家のうち老朽化している住宅は、1,390戸、18.3%となっております。特に、「その他の住宅」の約5戸に1戸、率で申しますと21.6%ですけれども、老朽化で全空家における老朽化の状況、18.3%と比較しても高い水準

にございます。

そのため、特定空家等の管理責任を有する所有者等への働きかけ、あるいは情報提供に重点的に取り組んでいくことが重要だと考えております。

続いて右の図、家屋等の通報件数の推移ですけれども、空家法の施行前から空家等の通報等に対応しておりますけれども、平成28年4月に空家等の相談窓口を東成区に設置して以降、区内の空家等に関する通報等が多数寄せられております。26年度は12件、平成27年度9件でありましたけれども、この28年度は51件、これは1月の17日現在ですけれども、大幅に増えております。

次に46ページ、空家等対策の基本的な方針と目標ですけれども、方針としましては記載しておりますように、方針1から3を立てております。

次に空家等対策の目標でありますけれども、表の指標にありますように、周辺の特定空家等に不安などを感じている区民の割合。これは、28年の大阪市の調査では、東成区の場合、7.9%でありましたが、それを毎年1%ずつ減少させまして、計画期間であります32年度に半減の4%にしたいと考えております。

もう一つ特定空家等の解体や補修等による是正件数について、年間3件以上としております。

その下、第4の家等の調査ですけれども、空家等対策の相談窓口を設置し、総務課総合企画担当としております。既に、平成28年4月の設置済みでございます。

また通報を受けて得られた特定空家等の情報をデータベース化するなど、周辺に悪影響を及ぼす空家等の状況把握に努めてまいります。

次に、第5の住民等からの空家等に関する相談への対応ですけれども、具体的には区役所に空家等対策の相談窓口を設置するということ。

また、特定空家等に関する通報等については、現地を確認の上、関係局とも連携しながら、所有者調査、あるいは、所有者への助言・指導を行うということ。

さらに、空家所有者等からの相談については、内容に応じて各専門家団体や住まい

情報センター等へ案内いたします他、各専門家団体や住まい情報センターの窓口の案内チラシ等を設置いたします。

また、高齢者等の相談窓口である地域包括センターとも連携いたしまして、相談対応等に努めたいと考えております。資料にございますように、全て既に取り組んでおられる部分でございます。

続きまして、第6の所有者等による空家等の適切な管理の促進についてでございます。空家所有者等への意識啓発のために、区役所等における啓発パンフレット等の配布や、ホームページ、区広報紙を活用した普及啓発に取り組んでいく予定でございます。その他セミナー等を通じまして、空家所有者等の管理意識の向上にも取り組んでまいりたいと考えております。

次のページにまいりまして、第7は、空家等及び除却後の跡地の活用の促進に関しましては、空家等を活用した地域活性化に係る取組みといたしまして、空家等の活用やリフォームに関するセミナーの実施、老朽住宅の建替等に関連する各種支援制度の広報や周知など、空家等に関する情報発信に取り組んでまいります。

また、空家等対策に取り組む地域団体等が行う地域場の場づくりの促進・支援の検討も行ってまいりたいと考えております。

2つ目としまして、空家等の活用・流通促進に向けて、各種制度の周知や案内を行います。具体的には、区ホームページでのリンク、あるいは区役所情報コーナーでのパンフレットの配架等によりまして、制度概要や周知及び案内を行い、老朽住宅の建替促進と、老朽住宅の除却、あるいは跡地活用などにつなげていきたいと考えております。

最後に、第8の特定空家等に対する措置その他の特定空家等への対処についてでございます。相談窓口の設置は、再掲でございます。

次のページ、49ページをご覧くださいまして、図3にありますように、区民の方から特定空家等に関する通報を受けた後、現場を確認の上、関係局と連携を図りながら、

当該物件の所有者等に対しまして、関係法令に基づく助言や指導を段階的に行うことで、所有者等に自主的な改善を促してまいりたいと考えております。

また、その右の図4をご覧くださいまして、ちょうど真ん中に記載しております空家法以外の法律等に基づく対応といたしまして、空家法に基づく空家等に該当しない一部空家を含む長屋などで、そのまま放置すれば倒壊等の危険がある建物、これは老朽危険家屋ですけれども、これらについてはこれまでと同様に、都市計画局におきまして、建築基準法に基づいて建物の所有者等を調査し、指導等を行ってまいります。

最後に、49ページの終わりに記載しておりますように、アクションプランに則りまして、空家等対策を進めてまいりますけれども、社会情勢や法制度、環境の変化等に応じて、適宜見直しを図りまして、適切に対応してまいりたいと考えているところであります。

長くなりましたが、以上空家等対策アクションプランについて説明をさせていただきました。

○清水議長　　ただいま説明がございましたけれども。これは大変やな。質問がいくらかでも出るやろ。これは聞いて対応できますか。僕らでも、もうあの家が危ないとか言うて、それを役所へ行ってもそのままやと。つぶすのに補助金はないでしょ。補助金でも出されたらやる人もいるやろうけど、自分は金がないと。だから、今日委員さんに聞いたら、これはいくらかでも質問が出てくると思う。これは東成区で受けてもどうにもできないと思うけど、これ、結局市でしょ。

○森本区長　　最終的には市ですけど、例えば空家等であつたり、ごみ屋敷でありますとか、そういうものについてはお話をお聞きしまして、例えば、環境局であるとか、区役所の福祉担当とも一緒になって丸一日かけてその対策をしましたので、区で相談を受けて、今議長がおっしゃったように、連絡をとって市につながないといけないものはもちろんありますが、第一の窓口として何ができるかということを考えてやりなさいというのがアクションプランであるということと、それから、空家で利用ができ

るものがあり、それをそのままにしておくのなら、それを活用して、より活性化につなげていきたいということの2つのものがあると思いますので、それを区としてもやらせていただきますというのがプランであると思っていておいていただいて、細かいことはどうするのかというのは、また実務に沿って担当窓口がございますので、皆様ご相談をいただいたらと思っております。

○清水議長　何かお尋ねあるでしょうかね。はい、どうぞ。こんなん聞いたらきらないで。

○梅本委員　すいません。これね。破損とかいうのが数字出ていますよね。具体的につかまれているということですよ。まあ言うたら、そのつかまれている中で、通報がない限り動かないっていう、もうきっちりこの調査の結果、1,390戸が破損ありということをつかんでほめるわけやから、実際的にもっと具体的な所有者を調査するとか、啓発するとか、そういう問題ではないと思うんですよ。はっきり言ってね。

それと、東成区の空家対策いうところで、地域の活性化やまちづくりの向上につなげますって書いているのですが、これが予算案に何か反映されてるんですか。予算案見ていたら、にぎわいや活気のあるまちづくりのところに入ると思うけど、これみんなマイナスですよ。

先ほども区長が言いましたように、予算が上がっていくように見えるけど、実際上がっているのは区役所の住民情報の委託だけやという、何か数字の、その前の年私ちょっと言わせてもらったと思うんですけども、この空家対策というのがこれだけきっちりやっってはるんやったら、もっと具体的な、ただ連携するだけじゃなくて、大阪市にもきっちりしないと、あそこの家があいてるから危ないでとか、そういう問題ではないと思うのですが、もっと区役所なり行政が指導的にやるところではないかなと思います。このさっきも言ったように、予算措置がないのにやりますなんて目標なんて何かおかしいなと思います。これだけぱっと見ただけやけど、間違っていたら言ってください。

○中須賀課長　　今回、大阪市の計画に基づきまして、区のほうでこのプランを作成いたしました。素案ということで、窓口につきましては、昨年4月から総務課のほうでご相談窓口設けています。このデータにつきましても、先ほどおっしゃったその破損の部分の下にちょっと資料ということで書かせていただいております。平成25年のこの土地、住宅統計調査から抜粋しております。だから、現状とちょっと違うところもあるかもわかりません。我々のほうでは予算もない中で、できることについてはできるだけやっていこうという姿勢で、今取り組んでおりまして、まずご相談受けて、先ほどもちょっと申しました建物を現地に確認に行きまして、所有者が判明すれば改善に向けた指導を行っていったような状況でございます。

○清水議長　　こんな名前なんていうのは、役所で不動産の登記簿見たらわかるやろ。誰が所有者とかそんなもん。そうでしょ。その所有者がどこ行ってわかれへん。それでない限り、もう所有者はわかっているわけでしょ。見たらわかる、台帳見たら。そうでしょ。

○中須賀課長　　所有者は登記簿等の照会で判明いたしましても、またこの近辺に居住されておるとも限りませんので、郵便でのやりとりですとか、近辺におられましたら、直接できるだけお会いしたい旨を申し上げます。

○清水議長　　この問題難しいてできへんで、なかなか。勝手につぶすことはできないし、もう半壊になっていて、もう誰も手を加えへんのやから。片江であったやんか。2階が倒れかかって、我々がある程度お金出して建物の2階をつぶしてもうたんや。それでも所有者は動かなかったのでどうにもできません。これら難しいですよ。本当に。今も言っはるように、わかっているこれだけの数があるわけでしょ。もうその対応もできてへんもん。

　　こういう今出ました空家法云々が出ましたので、皆さん、もしそういうことがあれば、すいませんが、2階の窓口ですね。3階か。窓口へどンドン言うたってください。でないと、これ進行せえへんもん、せやろ。これ以上。だから、今日は話だけ聞いて

おきますわ。こういうことをやっていますということで。我々が意見を出してもできへんもん。こんなん何ぼでもあるから、きりがない。

ということで、一応本日の会議は、議題につきましては、これをもって閉会といたします。

その他につきましては、区役所でやってください。

○森本区長 すいません。いいですか。

本日は、貴重なご意見をいただきましたので、区役所で解決できるものを、それから全市でやらないといけないもの、それから国でやるもの、いろいろございます。それはそれぞれのところにご意見をいただいたのは届けながら進ませていただきたいと思います。

最後に、私ごとで誠に申し訳ありませんが、一言お礼とご挨拶を申し上げたいと思います。本当に区政会議、皆様お忙しい中時間をいただきまして、熱心にご議論いただきまして本当にありがとうございます。平成26年の4月に着任以来、皆様方にいろいろ助けていただいて、区政を運営できましたこと、本当に感謝でいっぱいでございます。

このたび3月末をもって退任することとなっておりますので、また皆様方のご議論につきましては、次の区長にきっちり伝えて、区政会議にていろいろご議論いただいて、これからも区政に対してご支援をいただきたいと思います。本当にこの東成区の区政に関わらせていただきまして、本当にありがとうございます。また、今後ともお力添えのほどよろしく願いいたします。

本日の議事、本当にありがとうございます。

○中須賀課長 清水議長をはじめ委員の皆様方には、スムーズな議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の区政会議において、皆様方から頂戴しましたご意見につきましては、今後の区政運営での参考とさせていただきたいと思っております。引き続き東成区政にご協

力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

これを持ちまして、平成28年度第3回東成区区政会議を終了いたします。本日は、誠にお疲れさまでした。ありがとうございました。